

「外国人雇用状況」の届出状況(平成30年10月末現在)

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- ・外国人労働者数は4,389人。
前年同期比で365人(9.1%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・中国 1,590人(全体の36.2%) [前年同期比21人(1.3%)減少]
- ・ベトナム 1,310人(同29.8%) [同194人(17.4%)増加]
- ・フィリピン 476人(同10.8%) [同44人(10.2%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 2,869人(全体の65.4%) [前年同期比9.1%増加]
- ・身分に基づく在留資格 725人(同16.5%) [同8.2%増加]
- ・専門的・技術的分野 362人(同8.2%) [同7.4%増加]
- ・技能実習の構成比は、全国における構成比(21.1%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 1,756人(全体の40.0%) [前年同期比13.7%増加]
- ・鳴門地域 860人(同19.6%) [同7.9%増加]
- ・吉野川地域 612人(同13.9%) [同2.0%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の49.6%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の34.7%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は934所。
前年同期比で87所(10.3%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 394所(全体の42.2%) [前年同期比14.5%増加]
- ・ 鳴門地域 228所(同24.4%) [同 9.6%増加]
- ・ 吉野川地域 113所(同12.1%) [同 9.7%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の67.8%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(58.8%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種、外国人労働者を雇用する事業所数ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の46.8%
外国人労働者を雇用する製造業の事業所は、事業所全体の30.9%。
- ・ 製造業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の29.7%、
事業所全体の21.4%)に比べると高い。
- ・ 農業・林業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の
12.9%、外国人労働者を雇用する農業・林業の事業所は、事業所全体の
16.5%。
- ・ 農業・林業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の2.1%、
事業所全体の4.3%)に比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
・ 47所(事業所全体の5.0%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
・ 221人(外国人労働者全体の5.0%)